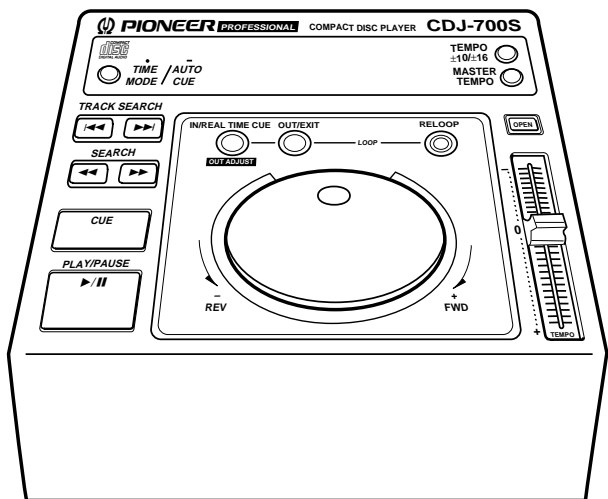


# 取扱説明書

コンパクトディスクプレーヤー

# CDJ-700S



COMPACT  
disc  
DIGITAL AUDIO

高調波ガイドライン適合品

## 安全に正しくお使いいただくために

### 絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

### 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

### 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### 絵表示の例



△記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。



図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。



⊘記号は禁止(やってはいけないこと)を示しています。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

特に、本書および別冊の「安全上のご注意」は必ずお読みください。

なお、「取扱説明書」および「安全上のご注意」は「保証書」、「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒に必ず保管してください。

## 目次

### ご使用の前に

安全上のご注意	2
設置上のご注意	3
ラックへの据え付け	3
オペレーションガイド	4
接続のしかた	5
各部の名称と働き	6
表示部	7

### 基本操作 I

普通のCDプレーヤーとしての操作編	8
オートキュー機能をオン/オフするには	8
基本再生操作	8
演奏を終了するには	8
演奏を一時停止するには	8
スキップするには	8
早送り/早戻しするには	8

### 基本操作 II

DJ用CDプレーヤーとしての基本操作編	9
オートキュー機能をオンした場合の再生操作	9
フレーム単位で頭出しするには	9
キューポイントの設定	9

### 応用操作

DJ必須テクニック編	10
ジョグダイヤル5つの機能をマスターしよう	10
さりげなくマスターテンポをかける	10
ループプレイを極める	10
頭出しのテクニックあれこれ	10
フェーダースタートプレイを楽しむ	11
2台のプレーヤーを使ったリレープレイ	11
DJ応用テクニック編	12
違う曲どうしをミックスする(つなぎ)	13

### その他

故障? ちょっと調べてください	14
エラー表示	15
仕様	15
保証とアフターサービス	16

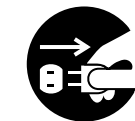
# 安全上のご注意

(別冊の「安全上のご注意」もお読みください。)

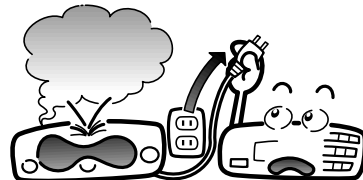
## 警告

### 〔異常時の処置〕

● 万一煙が出ていたり、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



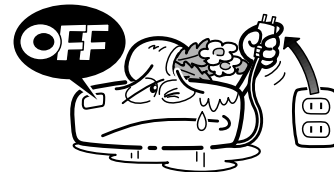
プラグを抜け



● 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



プラグを抜け



● 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



プラグを抜け



## ディスクの取り扱いについて

■ 下記マークの付いたコンパクトディスクをお使いください。

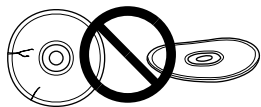


■ 信号面をさわらないようにしてください。



■ レーベル面に紙やシールなどを貼付けたり、キズなどをつけないようにしてください。ノリなどがはみ出した場合、ディスクが取り出せなくなるなど故障の原因となります。

■ 損傷のあるディスク(ひびやそりのあるディスク)は使用しないでください。



### ■ 特殊な形のディスクについて

● 本機では、特殊な形のディスク(ハート型や六角形等)は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクはご使用ならないでください。



### ■ ディスクの保管

- 必ずケースに入れ、高温多湿の場合や極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。車のシートの上なども予想以上に高温となりますのでご注意ください。
- ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

### ■ ディスクのお手入れ

- 柔らかい布でディスクの内側から外側方向へ軽く拭いてください。



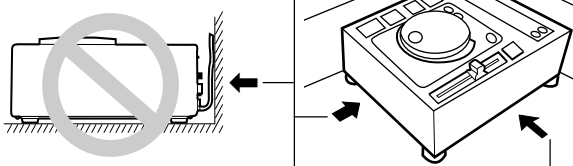
- ディスクの清掃には、別売のディスククリーニングセット(JV-D11)の使用をお勧めします。
- レコードスプレー、帯電防止剤などは使用できません。また、ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品をかけると表面を傷めることがあります。
- 汚れがひどい場合には柔らかい布を水に浸し、よく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと乾いた布で水気を拭き取ってください。

## 設置上のご注意

- 熱を発生するアンプなどの上に直接置いたり、スポットライト等の近傍で長時間使用すると、ディスクや本体に悪い影響を与えますので、おやめください。
- チューナーやテレビから離して設置してください。近くに置いた場合は、雑音や映像の乱れが生じることがあります。なお、室内アンテナをご使用の場合に起こりやすく、このようなときは、屋外アンテナを使用するか、本機の電源を切ってください。
- スピーカーの近くなど、大音量の環境で使用すると音飛びを生じることがあります。このような場合にはスピーカーから離すか、スピーカーの音量を下げてください。
- 本機は水平で堅牢な床のある場所に設置してください。また、下記のようなことに注意して設置してください。

本機は製品の脚部分に防振効果があります。プレイする状態ではプラスチックパネルやオーディオコード、電源コードが振動している場所に触れないように設置してください。振動が製品の脚部以外から伝わると、音飛びの原因となる場合があります。キャリングケース等に収納して使用する場合に注意してください。

振動している場所に接触させないでください！



### 結露について



本機を冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりしますと、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなることがあります。

このような場合には1時間ほど放置するか、徐々に室温を上げてから使用してください。

### 製品のお手入れについて



通常は、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5~6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞った後、汚れを拭きとり、その後乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。

お手入れの際は、差し込みプラグをコンセントから抜いて行ってください。

## CDレンズクリーナーについて

ピックアップレンズは通常汚れるものではありませんが、ご使用中にホコリなどにより不具合が発生したときは「アフターサービスについて」(裏表紙)をお読みのうえ、修理をご依頼ください。なお、市販されているCDレンズクリーナーには、レンズを破損する恐れのあるものもございますのでご注意ください。

## ラックへの据え付け

市販のラックの棚板へプレーヤーを固定して使用する場合には次の手順でネジ止めしてください。

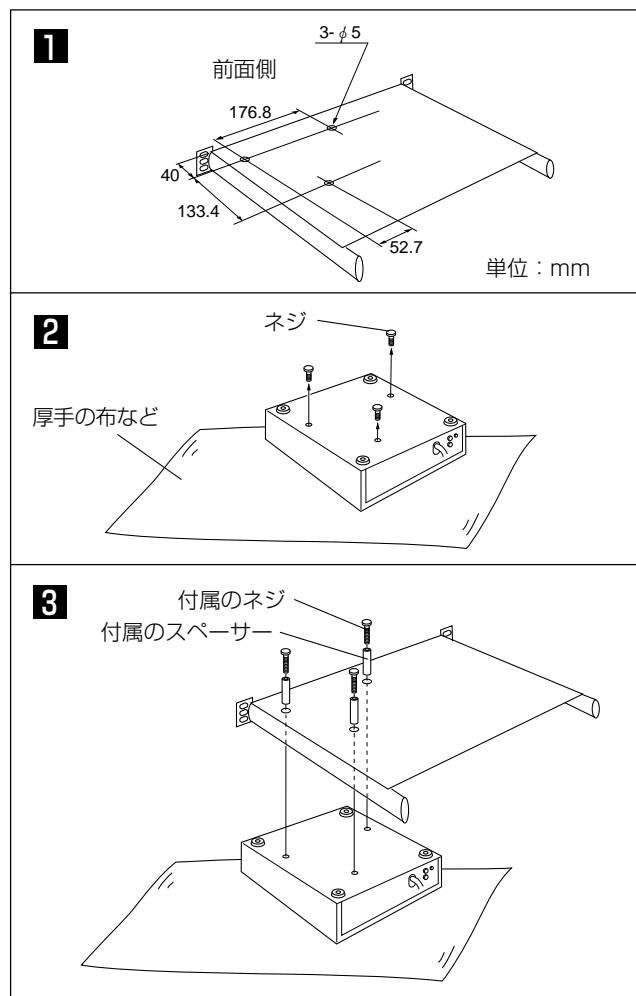
棚板は厚さ1.6 mm ~ 2 mm のものをご使用ください。

**1** 図に示した寸法に従って、棚板に3カ所の穴(直径5 mm)をあけます。

**2** プレーヤーを裏返しにして、ネジ3本をはずします。

- はずしたネジは保存してください。棚板から取り外して使う場合に元のように締めてください。

**3** 棚板をのせ、付属のスペーサーとネジで固定します。



# オペレーションガイド

本機はディスクでの使用で求められている機能と操作性をCDで再現し、さらにCDならではの機能を付加した、ディスク向けコンパクトディスクプレーヤーです。横幅はEIAハーフサイズにもかかわらずCDJ-50-2およびCDJ-500-2の機能はもれなく搭載しています。

## JOG DIAL

アナログターンテーブル感覚でビートのズレが補正できる直径89mmの大型ダイヤル。

指先でぐるっと回転させるだけで、頭出ししたいポイントがフレーム(1/75秒)単位ですぐ見つけられます。

## TEMPO CONTROL

曲のスピードを自由に調節できる、長さ100mmのロングストローク高性能スライダー。

0.1%単位のデジタル表示を利用して、テンポ合わせがより正確に、より簡単にできます。

### ● TEMPO CONTROL RANGE

最大可変範囲が±10%と±16%の2段階に設定でき、より使いやすくなりました。 **NEW**

## QUICK START

ポーズ状態からボタンを押すと瞬時にスタート(0.01秒以下)。

通常のCDプレーヤーは、ポーズ状態から音が出るまで最大0.3秒かかりますが、このタイムラグがほとんどなくなり、曲つなぎもスムーズに行えます。

## MASTER TEMPO

音程を変えないで曲のスピードを変えられる。

アナログで曲のテンポを変えると音程も変わってしまいますが、デジタルならではの機能で曲のスピードを変えても音程を保つことができます。

## DJ SYSTEM

DJM-300とパネル面の奥行きと高さが同サイズなのでシステム化が容易に行えます。

## PLAYING ADDRESS

演奏曲の経過時間や残り時間を直観的に把握できるバーグラフ表示。

アナログレコードならば針の位置でわかる曲の進行状態を、瞬間的に把握できるようにバーグラフで視覚的に表示します。その長さで現在位置がすぐわかり、さらに点滅することにより曲が終わることを警告します。

## SEAMLESS LOOP

曲の好きな部分を途切れなく何度でもリピート。

ループの設定は簡単です。ループを解除すればリピート演奏が終わり、曲はそのまま続きます。最小1フレーム(約0.013秒)から最大10分までの途切れのないリピート演奏を楽しめます。

## REAL TIME LOOP

ループのスタートポイントをリアルタイムで設定可能。

ループの設定・解除が簡単にできます。曲をプレイしながら使えるようになり、ここだと思ったときにすぐにループを設定でき、また、曲の終了間際にループを組んで曲を終わらせないこともできます。

### ● LOOP OUT ADJUST

ループアウトポイントをワンタッチで修正。

ループアウトポイントの修正がワンタッチで行えるADJUSTモードを追加し、ループ機能が使いやすくなりました。 **NEW**

## RELOOP

一度設定したループに何回でも戻ることが可能。

ループプレイの解除後にリ・ループボタンを押すと、設定してあるループに戻ってループプレイを行います。リズムに合わせてオン・オフを使いこなせば、様々な可能性がひろがります。

### ● SHORT CUT

リ・ループの応用で、曲の不要部分をカットして途切れなくつなげることができる。

例えば、イントロとエンディングだけの曲を作ったりできます。

## CUE

キュー機能の充実。

### ● BACK CUE機能

音出しした後キューボタンを押せば、キューポイントに戻り、再度そこからスタート。

一度頭出ししたポイントにボタンひとつで何回でも戻れ、瞬時のBACK CUEを実現しました。

### ● AUTO CUE機能

曲頭の無音部分を飛ばして、音の出る直前の位置で自動的にスタンバイ。

プレイボタンで曲は瞬時にスタートします。

### ● CUE POINT SAMPLER機能

メモリーしたキューポイントから、最大10分の音をワンタッチで再生。

頭出ししたいポイントの確認やサンプラーとしての使用に便利で、しかもリアルタイムキューポイントの入力も可能で、キューポイントの設定や変更が、より簡単にできるようになりました。

## RELAY PLAY

2台のCDJ-700Sを接続。

一方の曲が終わると同時にもう一方のスタンバイ状態が解除され、瞬時に自動的に曲がスタートします。

## HEADPHONES JACK

音量調整付きヘッドホン端子を装備。

いつでも、どこでもモニターできるようにヘッドホン端子をリアパネルに装備しました。 **NEW**

## PICK UP PROTECTOR

CDのカバーを開けるとピックアップ部にあるシャッターが閉じて、たばこの煙やホコリなどから、ピックアップ、モーターを保護。

## INCLINATION

手前方向45度までの傾斜使用に対応。

使用範囲が拡大しました。 **NEW**

## OIL DAMPER FLOAT

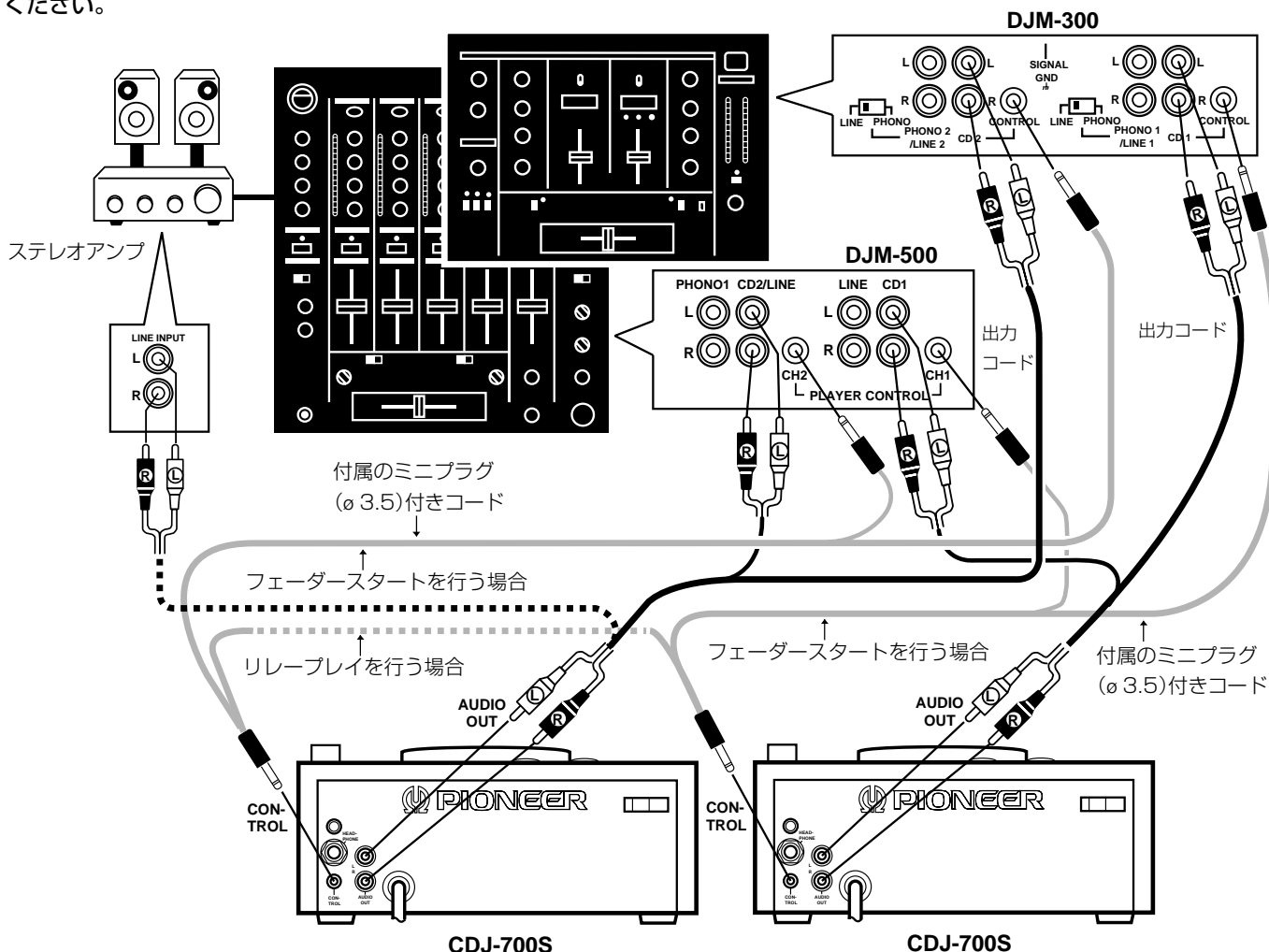
振動・衝撃に強いオイルダンパーフロート構造採用。

再生中の操作による衝撃や床からの振動などが加わっても音飛びの発生しにくいオイルダンパーフロート構造を採用しました。またディスクでの高音圧に耐えられるように、ディスクキャビティを遮音する構造にしています。

**NEW**

# 接続のしかた

機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて行ってください。



## 音声出力の接続

本機のAUDIO OUT端子とDJミキサーなどのライン入力端子またはAUX端子を接続します。白のプラグはL(左)端子へ、赤のプラグはR(右)端子へつないでください。

- DJミキサーのMIC(マイク)端子とは接続しないでください。音が歪んだり、正常な演奏ができません。
- イラストはCDJ-700SとDJM-300およびDJM-500との接続例です。

## コントロール端子の接続

本機2台のCONTROL端子を付属のミニプラグ(φ 3.5)付きコードで接続します。これにより、本機2台による交互演奏を自動的に行うことができます(11ページ参照)。

また、別売のDJミキサーDJM-500およびDJM-300と本機のCONTROL端子を接続するとDJミキサーの操作によりフェーダースタートやバックキューなどができます。

接続と操作については、DJミキサーDJM-500およびDJM-300の取扱説明書をご覧ください。

## ご注意

フェーダースタートとリレープレイはコントロールコードの接続が異なるため、同時に行うことはできません。

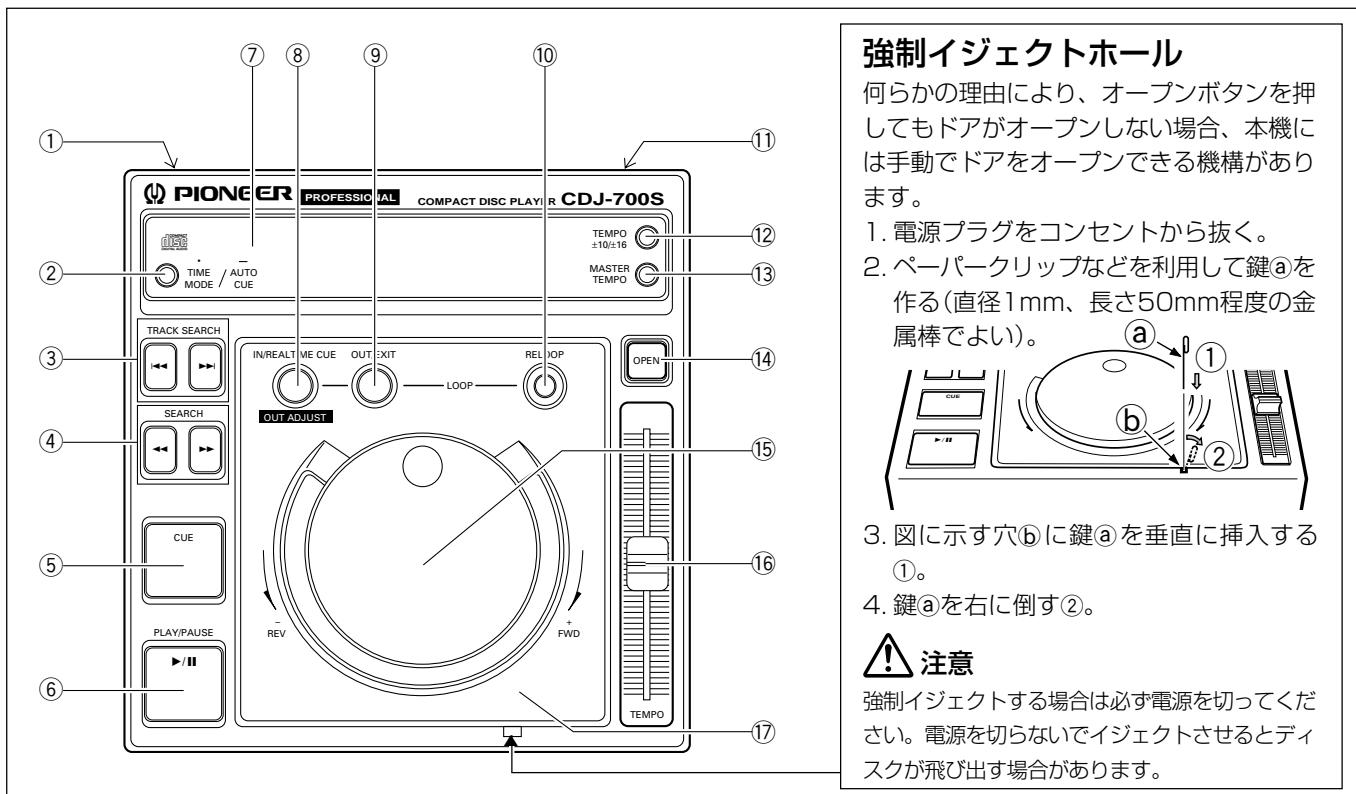
## 電源コードの接続

すべての接続が終了したら電源コードを壁の電源コンセントまたはアンプの予備電源コンセントへ接続します。

## ご注意

ディスクが回転している時に電源スイッチを切り切りしたり電源コードを抜き差しすると、まれに正常に動作しない場合があります。このような時は、一度イジェクトボタンを押して一旦ディスクを止めてから再度プレイすることにより正常に動作するようになります。

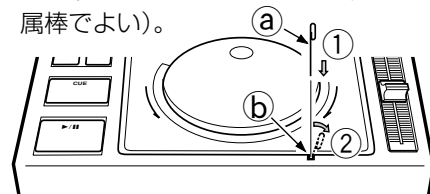
## 各部の名称と働き



### 強制イジェクトホール

何らかの理由により、オープンボタンを押してもドアがオープンしない場合、本機には手動でドアをオープンできる機構があります。

1. 電源プラグをコンセントから抜く。
2. ペーパークリップなどを利用して鍵aを作る(直径1mm、長さ50mm程度の金属棒でよい)。



3. 図に示す穴bに鍵aを垂直に挿入する①。
4. 鍵aを右に倒す②。

### ⚠ 注意

強制イジェクトする場合は必ず電源を切ってください。電源を切らないでイジェクトさせるとディスクが飛び出す場合があります。

- ① **電源スイッチ(POWER)**  
本機の後面にあります。
- ② **タイムモード／オートキューボタン (TIME MODE/AUTO CUE)**  
【時間表示切換】  
押すたびに、表示部の時間表示が現在の演奏曲の経過時間(TIME)と残り時間(REMAIN)に切り換わります。  
● 電源オン時はREMAIN表示になります。  
【オートキュー機能のオン／オフ切換】⇒ P. 8  
オートキュー機能：ディスクをセットした時とトラックサーチの時に、実際に音声が始まる直前でキューポイントメモリー(P. 9)を自動的に行う機能です。  
● 電源オン時はオートキュー機能はオフになります。
- ③ **トラックサーチボタン (TRACK SEARCH: ◀◀、▶▶)⇒ P. 8**
- ④ **サーチボタン (SEARCH: ◀◀、▶▶)⇒ P. 8、P. 11**
- ⑤ **キューボタン(CUE)とインジケーター**  
【キューポイントメモリー】⇒ P. 9、P. 10  
【バックキュー】⇒ P. 11  
【キューポイントサンプラー】⇒ P. 11、P. 12
- ⑥ **プレイ／ポーズボタン(▶/||)とインジケーター⇒ P. 8**
- ⑦ **表示部⇒ P. 7**
- ⑧ **ループイン／リアルタイムキュー／ループアウトポイント修正ボタン (LOOP IN/REALTIME CUE/OUT ADJUST)⇒ P. 10、P. 12**
- ⑨ **ループアウト／ループ解除ボタン (LOOP OUT/EXIT)⇒ P. 10、P. 12**
- ⑩ **リ・ループボタン(RELOOP) ⇒ P. 10、P. 12**
- ⑪ **ヘッドホン端子・ヘッドホンボリューム (HEADPHONE、HEADPHONE VOLUME)**  
● ヘッドホン出力は音の確認用ですので、ディスコ等の大音量環境では音量不足を感じる場合もあります。

⑫ テンポコントロールレンジ切替ボタン  
(TEMPO ±10/±16)

テンポ調整つまみの可変範囲を、押すたびに切り換えます(±10%/±16%)。

切り換えると約2秒間、表示部に設定レンジを数字で点滅表示します(10.0/16.0)。

- 電源オン時の可変範囲は±10%になります。

⑬ マスターテンポボタン  
(MASTER TEMPO)⇒ P. 10、P. 12

⑭ オープンボタン(OPEN)

ボタンを押すと、ディスク装着部のドアが開きます。

- 演奏中に押すとディスクの回転が止まってから、ドアが開きます。

⑮ ジョグダイヤル(+FWD/−REV)  
⇒ P. 10

⑯ テンポ調整つまみ(TEMPO)

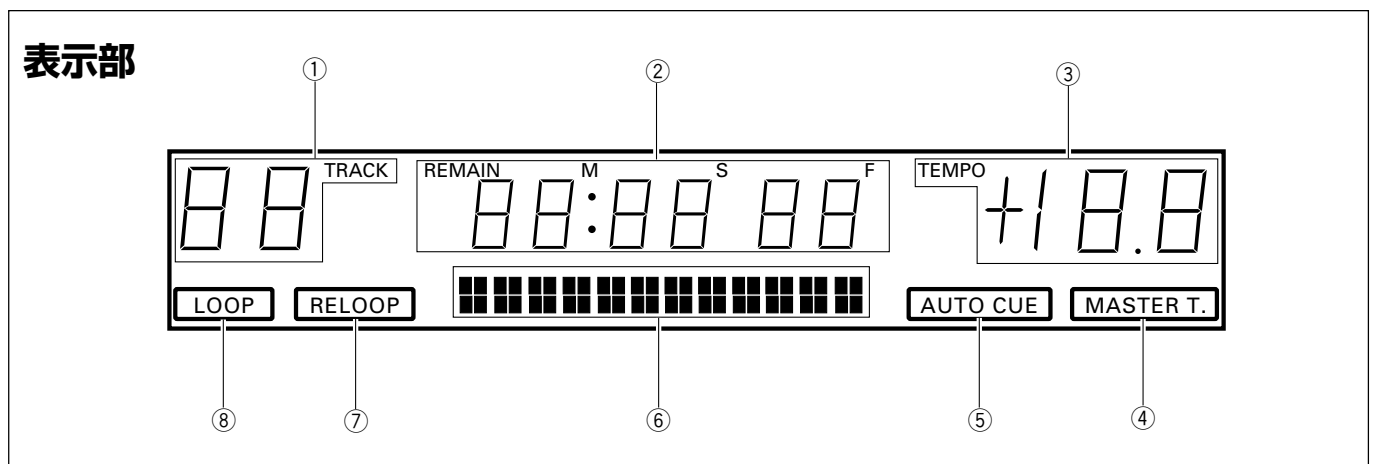
演奏テンポが調整できます。

センタークリック位置(通常演奏テンポ)を中心に、手前に動かすと速くなり、奥に動かすと遅くなります。

⑰ ディスク装着部ドア

オープンボタンを押すと開きます。閉じる時は手で押してください。

本製品は外部音との遮音性およびジョグダイヤルの操作性を高めるため、ドアを2箇所ロックする方式を採用しています。ドアを閉める場合はドア中央部(ジョグダイヤル手前付近)を確実に押し込むようにしてください。



① トラックナンバー表示(TRACK)

演奏中のトラックナンバーを表示します。

② 時間表示 (REMAIN)

現在の演奏曲の経過時間または演奏曲の残り時間(REMAIN)を分(M)・秒(S)・フレーム(F)で表示します。

③ 演奏速度表示(TEMPO)

テンポ調整つまみの操作によるテンポの変化を、0.1%ステップで±10% または±16%まで表示します。

④ マスターテンポインジケータ  
(MASTER T.)

マスターテンポ機能をオンすると点灯します。

⑤ オートキューインジケータ  
(AUTO CUE)

オートキュー機能オン時に点灯します。

⑥ 演奏位置表示

演奏曲の経過時間や残り時間を直感的に把握できるように、1曲がフルスケールのバーグラフとして表示します。

- ディスクが無い時 ..... 消灯
- 経過時間表示の時 ..... 全消灯の左端から順次点灯
- 残り時間表示の時 ..... 全点灯の左端から順次消灯
- 曲の残りが30秒以下 ..... 点滅

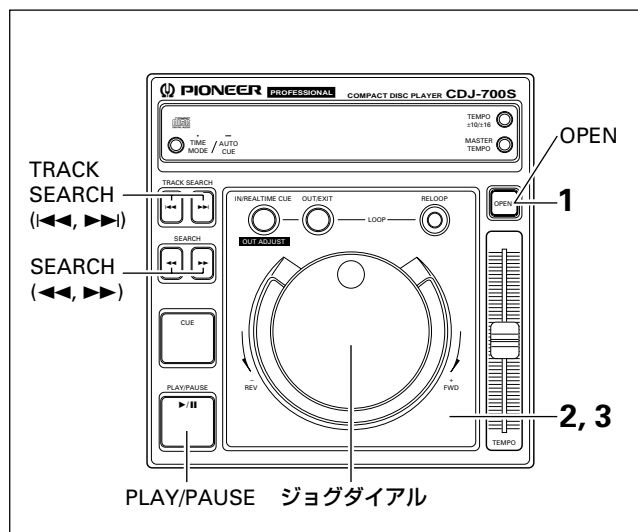
⑦ リ・ループインジケータ (RELOOP)

ループのインポイント(開始点)とアウトポイント(終了点)がメモリーされていて、ループプレイが可能となきに点灯します。

⑧ ループインジケータ (LOOP)

ループプレイ中に点灯します。

# 普通のCDプレーヤーとしての操作編



## 演奏を一時停止するには

演奏中にPLAY/PAUSEボタン(▶/||)を押す。

- ▶/||インジケータとキューインジケータ(CUE)が点滅し、演奏を中断します。
- もう1度PLAY/PAUSEボタンを押すと、▶/||インジケータが点灯し、演奏を再開します。
- ポーズモード中も演奏音がとぎれとぎれに出力されます。音を出したくない時はオーディオミキサーの出力レベルを下げてください。
- ポーズ状態で80分以上操作しないと、自動的にディスクの回転が停止します。このときプレイ/ポーズボタンを押せば演奏を再開します。

## オートキュー機能をオン/オフするには

TIME MODE/AUTO CUEボタンを1秒以上押し続けるとオートキュー機能をオン/オフできます。

表示部のオートキューインジケータ(AUTO CUE)が点灯するとオンです。

## 基本再生操作

オートキュー機能オフ時(表示部のAUTO CUEインジケータ消灯)の基本再生操作です。

### 1. OPENボタンを押す。

### 2. ディスクを入れる。

- ディスクはレーベル面を上にして、中央に置いてください。
- 8cmディスクの場合はガイド(くぼみ)に合わせて中央に置いてください。
- 装着できるディスクは1枚のみです。

### 3. ドアを手で閉める。

- 1曲目から演奏が自動的に始まります。
- オートキュー機能がオフの場合、1曲目を終わっても停止せずに、順番に演奏を続けます。
- 最終曲の演奏が終ると、演奏を終了します。

## 演奏を終了するには

OPENボタンを押す。

- 演奏を終了し、ドアが開きます。
- 本機にはストップボタンはありません。

## スキップするには

### ■ トラックサーチボタン(◀◀、▶▶)による操作

TRACK SEARCHボタン(◀◀、▶▶)を押す。

- 1回押す毎に、指定方向の曲にスキップします(演奏中に前の曲にスキップするには、続けて2回◀◀を押してください)。
- 押し続けると連続送りになります。2秒以上押し続けると、送り速度が早くなります。
- 最初の曲(トラックNo. 1)の始めで◀◀を押すと最終曲にスキップします。
- 最終曲から▶▶を押すと最初の曲(トラックNo. 1)をサーチします。

## 早送り/早戻しをするには

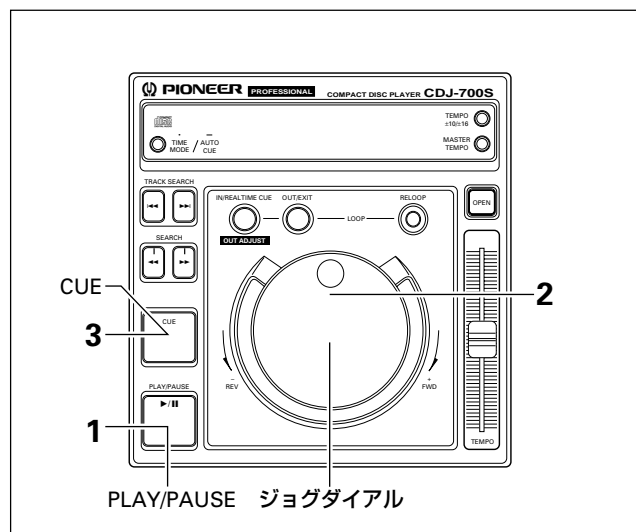
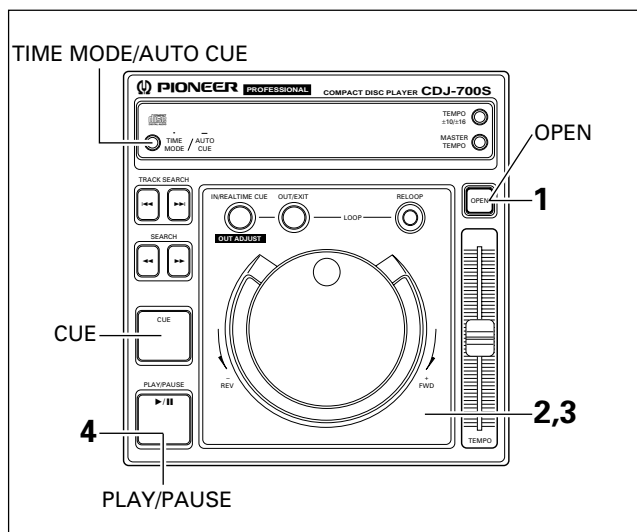
### ■ サーチボタン(◀◀、▶▶)による操作

再生中にSEARCHボタン(◀◀、▶▶)を押す。

- ▶▶ボタンを押している間、早送りします。
- ◀◀ボタンを押している間、早戻しします。



# DJ用CDプレーヤーとしての基本操作編



## オートキュー機能をオンした場合の再生操作

オートキュー機能オン時(表示部のAUTO CUEインジケータ点灯)の基本再生操作です。

1. OPENボタンを押す。
2. ディスクを入れる。
  - ディスクはレーベル面を上にして、中央に置いてください。
  - 8cmディスクの場合はガイド(くぼみ)に合わせて中央に置いてください。
  - 装着できるディスクは1枚のみです。
3. ドアを手で閉める。
4. PLAY/PAUSEボタン(▶/||)を押す。
  - キューインジケータ(CUE)が点灯してから押してください。瞬時に演奏を始めます。

■ 1曲の演奏を終了すると、次の演奏曲の頭出しをします。キューインジケータ(CUE)が点灯し、▶/||インジケータが点滅して、演奏待機状態になります。PLAY/PAUSEボタン(▶/||)を押すと次曲の演奏がスタートします。

## フレーム単位で頭出しするには

- ジョグダイヤルによる操作  
演奏中にPLAY/PAUSEボタン(▶/||)を押して一時停止状態にし、ジョグダイヤルを回す。
- 1フレーム単位(75フレーム=1秒)で頭出しできます。
  - ジョグダイヤルを時計方向に回すとプラス方向にサーチし、反時計方向に回すとマイナス方向にサーチします。
  - ジョグダイヤルを1回転すると75フレーム送ります。

## キューポイントの設定

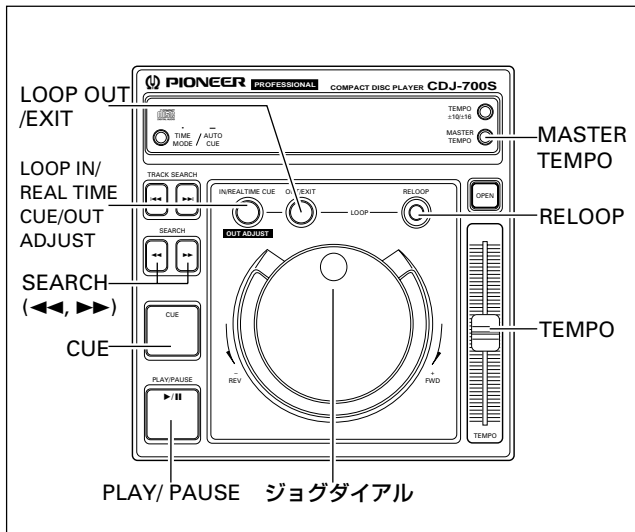
キューポイントをメモリーしておく、CUEボタンを押した時にキューポイントでスタート待機状態にすることができます。

1. 再生中、頭出ししたいポイントで、PLAY/PAUSEボタン(▶/||)を押して一時停止状態にする。
2. ジョグダイヤルをゆっくり回転して、目的の位置を探す。
  - キューポイントを、音声を聞いて決めるときは、演奏を開始したい音声の直前までジョグダイヤルで戻します(音出しポーズ時に聞こえている音の直後がキューポイントになります)。
3. フレームナンバー、または音声为目的の頭出しポイントになったら、CUEボタンを押す。
  - 音声ミュートされ、キューインジケータ(CUE)が点灯したらキューポイントメモリーは完了です。
  - 新しいキューポイントがメモリーされると、以前のキューポイントはクリアされます。

- ジョグダイヤルの回転速度が、毎秒0.8~1.2回転の範囲では、通常演奏の音声を得られます。

- サーチボタン(◀◀、▶▶)による操作  
一時停止状態でSEARCHボタン(◀◀、▶▶)を押す。
- 押す度に1フレームずつ指定の方向へ送ります。

# DJ必須テクニック編



## ジョグダイヤル5つの機能をマスターしよう

1. 再生中、ゆっくりと回転する  
(毎秒2回転以下=ビートサーチ)。  
● 回転させた分、加速(FWD+)・減速(REV-)します。  
● 回転をやめると、回転前のスピードに戻ります。
2. 再生中、速く回転する  
(毎秒2回転以上=マルチスピードサーチ)。  
● 音を出しながら早送り/早戻しをします。音は途切れ途切れになります。
3. ポーズ時、ゆっくりと回転する  
(フレームサーチ)。  
● 1フレーム単位でサーチします。  
● FWD+の方向へ一定の早さで回転すると、再生音(1倍速)になります。
4. キュー待機時、サーチボタンを押してから回転する(キューポイントサーチ)。  
キュー待機中、SEARCHボタン(◀◀, ▶▶)を押すと音出しポーズになり、ジョグダイヤルを回すとキューポイントを移動できます。移動後、CUEボタンを押すと、新しいキューポイントになります。
5. ループプレイ時、ループアウトポイント修正ボタンを押してから回転する(ループアウトポイント修正)。  
ループプレイ中に、LOOP OUT ADJUSTボタンを押すとループアウトポイントの修正モードになり、ジョグダイヤルを回すと1フレーム単位でループアウトポイントを移動できます。

## さりげなくマスターテンポをかける

1. MASTER TEMPOボタンを押す。  
● 表示部のMASTER T.が点灯します。
2. TEMPOつまみでプレイスピードを変える。  
● スピード(テンポ)を変えても、音程(キー、ピッチ)は変わりません。

## ループプレイを極める

### ■ ループを作るには

1. PLAY/PAUSEボタン(▶/||)を押して再生する。
2. 再生中、ループインポイントでLOOP IN/REALTIME CUEボタンを押す。
3. 再生中、ループアウトポイントでLOOP OUT/EXITボタンを押す。  
● インポイントからアウトポイント間でループプレイを開始します。

### ■ ループを抜け出す(解除する)には

- ループプレイ中にLOOP OUT/EXITボタンまたはRELOOPボタンを押す。
- ループアウトポイントになっても再生を継続します。

### ■ ループアウトポイントを変えるには

1. ループプレイ中に、LOOP OUT ADJUSTボタンを押す。  
● LOOP OUT/EXITボタンが消灯し、LOOP OUT ADJUSTボタンの点滅が速くなります。
2. SEARCHボタン(◀◀, ▶▶)を押す。  
● 1フレーム単位でループアウトポイントが移動します。  
● ジョグダイヤルを回してもループアウトポイントが移動します。  
● LOOP OUT ADJUSTボタンを押すか、30秒間放置すると修正モードを抜けます。

### ■ 再度ループに戻るには

- ループ解除後、再生中にRELOOPボタンを押す。
- 前に設定したループに戻り、ループプレイします(リ・ループ)。

## 頭出しのテクニックあれこれ

### ■ 頭出しの方法(キューポイントの設定)

1. 再生中、頭出ししたいポイントでLOOP IN/REALTIME CUEボタンを押す。  
● 頭出しポイント(キューポイント)が設定されます。
2. CUEボタンを押す。  
● 設定した頭出しポイントに戻ります。
3. PLAY/PAUSEボタン(▶/||)を押す。  
● 頭出ししたポイントから瞬時に再生します。

## ■ 頭出しポイントを確認するには (キューポイントサンプラー)

頭出しポイントを設定後、CUEボタンを押す。

- CUEボタンを押しているあいだ、頭出した音を聞くことができます。

## ■ 頭出しポイントに戻るには (バックキュー)

1. 再生中、CUEボタンを押す。
  - 設定した頭出しポイントに戻ります。
2. PLAY/PAUSEボタン(▶/||)を押す。
  - 頭出したポイントから瞬時に再生します。

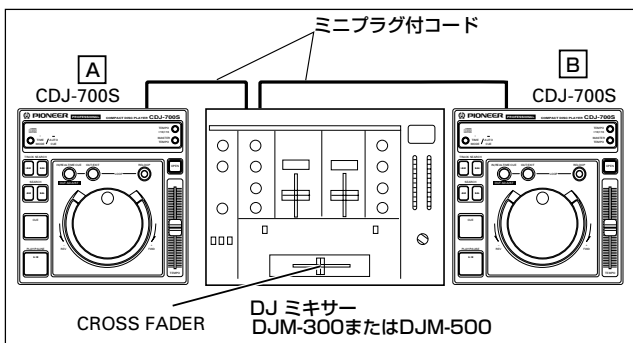
## ■ 頭出しポイントを修正するには (キューポイント修正)

1. 再生中、CUEボタンを押す。
  - 設定してある頭出しポイントに戻ります。
2. SEARCHボタン(◀◀、▶▶)を押す。
  - 1フレーム単位で頭出しポイントが移動します(継続音が移動する)。
  - ジョグダイヤルを回しても頭出しポイントが移動します(継続音が移動する)。
3. CUEボタンを押す。
  - CUEボタンを押したところが新しい頭出しポイントになります。

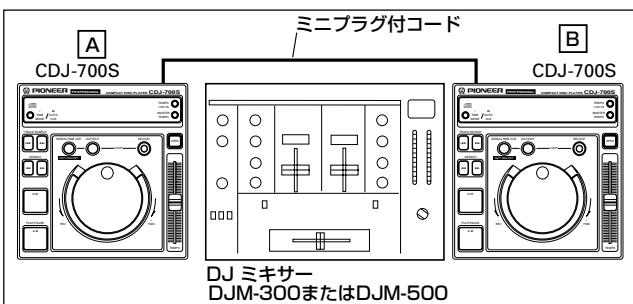
### ご注意

- ループ再生は解除されます。

### フェーダースタート時



### リレープレイ時



## フェーダースタートプレイを楽しむ

本機のコントロール端子(CONTROL)とDJミキサーDJM-500(別売)またはDJM-300(別売)のコントロール端子(CONTROL)を接続することにより、DJミキサーのチャンネルフェーダーを上げるとプレーヤーのCUEスタンバイが解除して瞬時に曲がスタートします。クロスフェーダーの操作でもプレーヤーのフェーダースタートができます。また、フェーダーの位置を元に戻すとプレーヤーをキューポイントまで戻す(バックキューする)ことができます。

次の操作はDJミキサーで行います。接続と操作の詳細は、DJミキサーの取扱説明書をご覧ください。

- ① CROSS FADERスイッチをONにします。
- ② FADER STARTスイッチをONにします。
- ③ “A”がキューポイントでスタンバイの時、CROSS FADERつまみを右端から左に動かすだけで“A”がスタートします。
- ④ “B”がキューポイントでスタンバイの時、CROSS FADERつまみを左端から右に動かすだけで“B”がスタートします。それと同時に“A”がバックキューします(キューポイントに戻ります)。

## 2台のプレーヤーを使ったリレープレイ

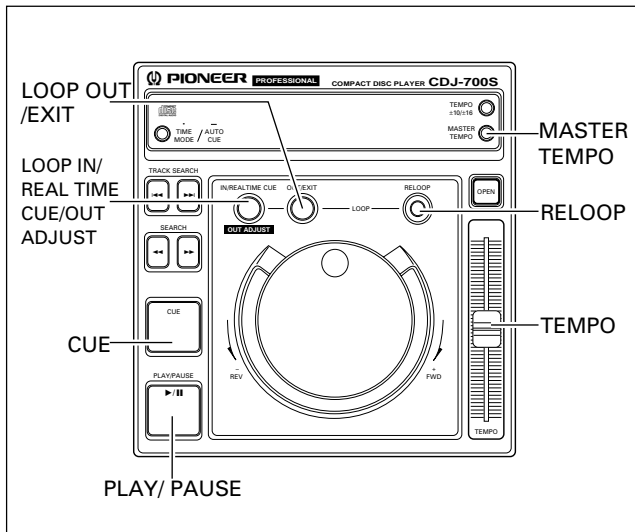
- 2台のプレーヤーのオートキュー機能はオンにします(表示部のAUTO CUEインジケーターが点灯)。
- オーディオミキサーのフェーダーコントロールはセンター位置にしてください。

1. 先に演奏するプレーヤーの演奏を開始する。
2. 演奏中の曲が終了すると、待機中のプレーヤーが自動的に演奏を開始する。
3. 始めに演奏していたプレーヤーは次の曲の始めの位置でCUEスタンバイ状態になる。
  - この繰り返しにより、自動的に2台のプレーヤーでの交互演奏ができます。
  - 待機中のプレーヤーのディスクを交換して選曲すれば、聞きたい曲を次々と演奏することができます。
  - 待機中のプレーヤーでキューポイントを設定しておく、希望の曲の希望のポイントにリレーすることができます。(9ページ「キューポイントの設定」参照)

### ご注意

- 2台のプレーヤーの音声出力端子を、同じオーディオミキサーに接続していない場合には、うまくリレープレイできないことがあります。
- 演奏中のプレーヤーの電源が切れた場合には、もう一方のプレーヤーが演奏をはじめることがあります。

# DJ応用テクニック編



## テクニック1 (MASTER TEMPO & SEAMLESS LOOP)

今かかっている曲にかぶせるために、待機する曲の音程を変えずにテンポを合わせ、ループを作ることができます。

1. MASTER TEMPOボタンをオンにする。
  - 表示部にMASTER T.が点灯します。
2. TEMPOつまみでスタンバイ曲のテンポを合わせる。
3. ループを作りたい始めのポイントでLOOP IN/REAL TIME CUEボタンを押す。
4. ループの最後にしたいポイントでLOOP OUT/EXITボタンを押す。

## テクニック2 (REALTIME LOOP & RELOOP)

曲のプレイ中にループを作り、解除する。さらに解除したループを復活することができます。

1. プレイしている曲の、ループを作りたい始めのポイントでLOOP IN/REAL TIME CUEボタンを押す。
2. ループの最後にしたいポイントでLOOP OUT/EXITボタンを押す。
3. ループプレイが不要になったら、LOOP OUT/EXITボタンまたはRELOOPボタンを押す。
  - 次のフレーズでループから抜け出します(ループ解除)。
4. 再び同じループが必要になったら、RELOOPボタンを押す。
  - 手順3で解除したループが復活し、ループプレイします。

## テクニック3 (REALTIME CUE & CUE POINT SAMPLER)

リアルタイムでキューポイントを設定し、プレイ中の曲をその場でサンプリング。

1. プレイ中、サンプリングしたい部分で、LOOP IN/REAL TIME CUEボタンを押す。
2. アクセントを効かせたいタイミングで、CUEボタンを押す。
  - 手順1で設定したキューポイントに戻ります。
3. リズムに合わせてPLAY/PAUSEボタン(▶/⏸)を押す。
  - キューポイントから曲が流れます。
  - プレイ/ポーズボタンの代わりにCUEボタンを押すと、押している間、音がでます。
  - 手順2、3を曲に合わせて繰り返せば、サンプラーを使っているかのようなプレイができます。

## テクニック4(LOOP & RELOOP)

・・・ショートカット・・・

イントロとエンディングだけで曲を再構成することができます。

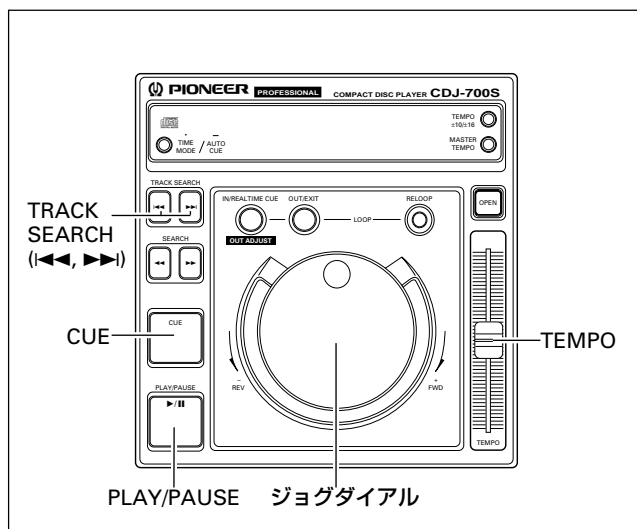
1. 次の曲のスタンバイ時に、あらかじめ曲のエンディング部分でループを作っておく。
  - ① ループを作りたい始めのポイントでLOOP IN/REAL TIME CUEボタンを押す。
  - ② ループの最後にしたいポイントでLOOP OUT/EXITボタンを押す。
- 2.トラックサーチボタン(◀◀)を押して、曲頭からプレイする。
3. イントロが終わってボーカルに入るところで、タイミングをはかってRELOOPボタンを押す。
  - 設定しておいたループにつながり、曲はエンディングを迎えます。

### ご注意

- ショートカットはオートキュー機能をオフにして行ってください。

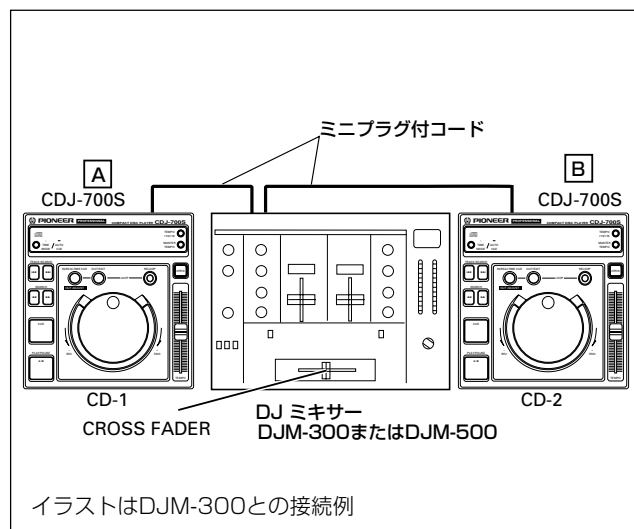
本製品を使ってそのほかにもいろいろな組み合わせのオリジナルテクニックを生み出してください。

# 違う曲どうしをミックスする(つなぎ)



(例) 現在スピーカーから音が出ている曲Aに対し、次にかける曲Bをミックスする。

- CD1をDJミキサーのCH1へ、CD2をCH2へ接続します。
  - トリム、CHフェーダー、マスターVRを適当な位置まで上げ、CD1の音が出るようにします。
1. DJミキサーのCROSS FADERつまみを左側(CH1側)にしておく。
    - 曲Aがスピーカーから出ています。
  2. プレーヤーCD2にCDをセットする。
  3. プレーヤーCD2のTRACK SEARCHボタン(◀▶)を押して曲Bを選ぶ。
  4. DJミキサーのMONITOR SELECTORボタンを操作してCH2をモニターする。
  5. DJミキサーのMONITOR LEVELつまみを回し、ヘッドホンに曲Bの音を出す。
    - スピーカーからは曲Aだけの音が出ています。
  6. ヘッドホンの音で曲Bの頭出しをする。
    - ① プレーヤーCD2の再生状態で、頭出しをする付近でPLAY/PAUSEボタン(▶||)を押す。
      - 音出しポーズ状態になります。
    - ② プレーヤーCD2のジョグダイヤルを回して、曲の頭出しポイント(一拍目)を探す。
    - ③ 頭出しポイントが決まったら、プレーヤーCD2のCUEボタンを押す。
      - 無音になり、頭出しを完了します。
  7. スピーカーからの曲Aに合わせて、プレーヤーCD2のPLAY/PAUSEボタン(▶||)を押す。
    - スピーカーからは曲Aだけの音がでています。
    - ヘッドホンからは曲Bの音が出ます。



## 8. プレーヤーのTEMPOつまみを動かして曲Aと曲Bの速さ(BPM=Beat Per Minutes)を合わせる。

- ① DJミキサーに曲のBPMを表示させる(DJM-300およびDJM-500の場合)。
    - DJミキサーの操作については、DJミキサーの取扱説明書をご覧ください。
  - ② 曲AのBPMの数字に、曲BのBPMの数字が同じになるようにプレーヤーCD2のTEMPOつまみを動かす。
    - BPMの数字が同じになれば、BPM合わせは完了です。
9. プレーヤーCD2のCUEボタンを押す。
    - プレーヤーCD2は頭出しポイントでスタンバイ状態になります。
  10. プレーヤーCD1の曲A(スピーカーの音)に合わせて、プレーヤーCD2のPLAY/PAUSEボタン(▶||)を押す。
    - 曲Bがスタートします。
  11. ヘッドホンで確認しながら、DJミキサーのCROSS FADERつまみを徐々に右側に動かす。
    - スピーカーからの曲Aの音に曲Bの音がミックスして出ます。
    - DJミキサーのCROSS FADERつまみが完全に右側へいったとき、曲Aから曲Bへつなぎは完了です。

### ■ ロングミックスプレイ

BPMさえ合っていれば、CROSS FADERつまみが中間にあっても、曲Aと曲Bはきれいにミックスされます。

### ■ フェーダースタートプレイ

DJM-500/DJM-300のクロスフェーダースタートを使えば、手順10を省略でき、より簡単にミックスできます。

さらに、CROSS FADERつまみを戻すと、手順9の状態に戻るので、繰り返し音を出すことができます。

## 故障？ちょっと調べてください

故障かな？……と思ったらちょっとチェックしてみてください。意外な操作ミスが故障とされています。また、本システム以外の原因も考えられます。同時に使用している電気器具も合わせてお調べください。

下の項目をチェックしても直らない場合はお買上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

症 状	考えられる原因	処 置
OPENボタンを押してもディスク装着部ドアが開かない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源コードがつながっていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源コンセントへつなぐ。</li> </ul>
演奏をはじめてもすぐに停止してしまう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ディスクの表と裏を逆にして装着している。</li> <li>● ディスクのくもりなど。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● レーベル面を上にして装着する。</li> <li>● ディスクのくもりをふき取る。</li> </ul>
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 出力コードが正しく接続されていない、またははずれている。</li> <li>● オーディオミキサーを正しく操作していない。</li> <li>● 接続のための端子やプラグが汚れている。</li> <li>● プレーヤーがポーズモードになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 正しく接続する。</li> <li>● オーディオミキサーのスイッチ類と音量調整を確認する。</li> <li>● 汚れをふき取って接続する。</li> <li>● PLAY/PAUSEボタンを押して、演奏する。</li> </ul>
音が歪む、雑音が出る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 出力コードが正しく接続されていない。</li> <li>● 接続のための端子やプラグが汚れている。</li> <li>● テレビからの影響を受けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● オーディオミキサーのライン入力端子へ接続する。マイク端子へは接続しないでください。</li> <li>● 汚れをふき取って接続する。</li> <li>● テレビの電源を切る。または本機を離す。</li> </ul>
特定のディスクで大きなノイズが出る。演奏が中断してしまう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ディスクに大きなキズやそりがある。</li> <li>● ディスクが極端に汚れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ディスクを交換する。</li> <li>● ディスクの汚れをふき取る。</li> </ul>
オートキュー機能をオンにしている、トラックサーチが終了しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 曲間の無音部分が長い場合にはトラックサーチも長くかかる場合がある。</li> <li>● 無音部分が10秒以上続くような場合、オートキュー機能がオフでないと演奏しない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● TIME MODE/AUTO CUEボタンを1秒以上押しつづけて、オートキュー機能をオフにする。</li> </ul>
演奏中にCUEボタンを押しても、バックキュー機能が働かない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● キューポイントを設定していない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● キューポイントを設定する。(9ページ参照)</li> </ul>
LOOP OUT/EXITボタンを押してもループプレイにならない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● キューポイント(スタートポイント)を設定していない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● キューポイントを設定する。(9ページ参照)</li> </ul>
テレビの画面が乱れる、FM放送に雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本機が影響している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本機の電源を切るか、テレビから離す。</li> </ul>
電源ONの状態でもディスクが停止している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ポーズ状態で80分間以上操作しないと自動的にディスクの回転を停止します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● PLAY/PAUSEボタンを押すと演奏を開始します。また、OPENボタンを押すとドアを開きます。</li> </ul>

- 静電気等、外部からの影響により、本機が正常に動作しない場合があります。このような時は電源コードを一度抜いてディスクが完全に停止してから再度差し込むことにより正常に動作します。
- 本機はCD-Rの未ファイナライズディスク(パーシャルディスク)の再生はできません。

## エラー表示

正常に動作できない場合には、表示部にエラーコードを表示します。下に示す表で確認して処置をしてください。下表に無いエラーコードが出た時や、処置をしても同じエラーコードが出る場合には、お買上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

エラーコード	エラータイプ	エラー内容	原因と処置
E-72 01	TOC READ ERROR	20秒以上かかってもTOCデータが読み取れない。	ディスクにひび割れがある。 → ディスクを交換する。
E-72 02	FG PULSE ERROR	DISCが回転しているにも関わらずDISCの回転を判断できない。	ディスクが汚れている。 → ディスクをクリーニングする。
E-83 01	PLAYER ERROR	正常に演奏できないディスクが装着されている。(GFS NG: 2s×3回連続)	
E-83 02	PLAYER ERROR	正常に演奏できないディスクが装着されている。(FOCUS NG: 0.1s×3回連続)	
E-91 01	MECHANICAL TIME OUT	規定時間の内にメカ動作が終了しなかった。(CLAMP: 4s)	ディスク装着部に異物が入っている。 → 異物を取りのぞく。
E-91 02	MECHANICAL TIME OUT	規定時間の内にメカ動作が終了しなかった。(OPEN: 4s)	
E-91 03	MECHANICAL TIME OUT	規定時間の内にメカ動作が終了しなかった。(INSIDE: 5s)	

## 仕様

### 1. 一般

形式 ..... コンパクトディスクデジタルオーディオシステム  
 使用ディスク ..... コンパクトディスク  
 電源 ..... AC 100 V、50/60 Hz  
 消費電力 ..... 12 W  
 動作温度 ..... +5℃～+35℃  
 動作湿度 ..... 5～85%(結露のないこと)  
 質量(重量) ..... 2.6 kg  
 最大外形寸法  
 ..... 217(幅)×227.7(奥行)×98(高さ)mm

### 2. オーディオ部

周波数特性 ..... 4 Hz ~ 20kHz(EIAJ)  
 SN 比 ..... 106 dB 以上(EIAJ)  
 ダイナミックレンジ ..... 96 dB 以上(EIAJ)  
 チャンネルセパレーション ..... 98 dB 以上(EIAJ)  
 全高調波歪率 ..... 0.004 %以下(EIAJ)  
 出力電圧 ..... 2.0 V  
 チャンネル数 ..... 2チャンネル(ステレオ)

### 3. 付属品

- 取扱説明書 ..... 1
- 安全上のご注意 ..... 1
- 出力コード ..... 1
- ミニプラグ付コード ..... 1
- ラックマウント用ネジ ..... 3
- ラックマウント用スペーサー ..... 3
- 保証書 ..... 1
- ご相談窓口・修理窓口のご案内 ..... 1

上記の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

# 保証とアフターサービスについて

## 保証書(別に添付してあります。)について

保証書は、必ず「取扱店名・購入日」等の記入を確かめ取扱店から受取っていただき、内容をお読みの上、大切に保管してください。

## 保証期間と保証内容について

- **保証期間について**  
保証期間は、取扱説明書の注意にしたがった使用で、ご購入より1年間です。
- **次のような場合には保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、性能、動作の保証をいたしません。また、故障した場合の修理についてもお受けいたしかねます。**  
本機を改造して使用した場合、不正使用や使用上の誤りの場合または他社製品や純正以外の付属品と組み合わせて使用したときに、動作異常などの原因が本機以外にあった場合。
- **故障、故障の修理その他にともなう営業上の機会損失(逸失利益)は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず補償いたしかねますのでご了承ください。**

## 補修用性能部品の保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打切後8年間保有しています。

## お客様ご相談窓口(全国共通フリーフォン)

カスタマーサポートセンター

- 家庭用オーディオ/ビジュアル製品のお問い合わせ窓口
- カタログのご請求窓口

☎0070-800-8181-22

☎0070-800-8181-33

- <ご注意>
- PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。予めご了承ください。
  - 修理に関しては別添の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご参照ください。

※ホームページでのカタログ請求とメールサービス登録のご案内

<http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg.html>

## 愛情点検



長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。こんな症状はありませんか

- 電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
- 電源コードにさけめやひび割れがある。
- 電気が入ったり切れたりする。
- 本体から異常な音、熱、臭いがする。



すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、故障や事故防止のため電気店または当社サービスステーションに点検(有料)をご依頼ください。

## 修理を依頼される時

取扱説明書をよくお読みいただき、もう一度、ご確認ください。異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてください。

### お願い

- 故障内容によっては、製品全体を取りはずすことが必要となります。その場合には、据付業者に依頼しなければサービスを行えない場合がありますので予めご了承ください。

### ● 保証期間中は

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社無料修理規定に基づき修理いたします。お近くのパイオニアサービスステーションまたはお求めの販売店にご相談ください。保証書の規定にしたがって修理致します。

### 連絡していただきたい内容

- ご住所・ご氏名・電話番号
- 製品名・型番・ご購入日
- 故障または異常の内容(できるだけ詳しく)
- 訪問ご希望日
- 訪問先までの道順と目標(建物、公園など)

### ● 保証期間が過ぎているときは

最寄りのパイオニアサービスステーションまたはお求めの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。